

生活排水処理事業特別会計

平成28年度みやま市生活排水処理事業特別会計決算に係る主要な施策の成果

し尿と生活雑排水を併せて処理し、窒素を除去処理する高度処理型の浄化槽の設置を推進することにより、住環境の改善と公共用水域の水質汚濁の防止を目的として、平成18年度より浄化槽市町村整備推進事業を実施しています。平成28年度は、128基の浄化槽を設置しました。

平成28年度みやま市生活排水処理事業特別会計の決算の状況及び主要な施策の成果は次のとおりです。

歳入決算額	436,558,317	円
歳出決算額	431,484,978	円
歳入歳出差引額	5,073,339	円
実質収支額	5,073,339	円

歳入総額は、436,558,317円であり、前年度より17,482,117円の減少となっています。

歳出総額は、431,484,978円であり、前年度より17,451,670円の減少となっています。

平成28年度 歳入歳出決算の状況

(単位：円、%)

歳 入			歳 出		
予 算 科 目	決 算 額	構 成 比	予 算 科 目	決 算 額	構 成 比
1 分担金及び負担金	23,120,000	5.3	1 総務費	32,165,857	7.4
2 使用料及び手数料	193,836,634	44.4	2 施設管理費	187,060,308	43.3
3 国庫支出金	39,578,000	9.1	3 施設整備費	172,448,582	40.0
4 県支出金	10,975,000	2.5	4 基金積立金	11,050,938	2.6
5 財産収入	75,938	0	5 公債費	28,759,293	6.7
6 繰入金	107,250,000	24.6	6 予備費	0	0
7 繰越金	5,103,786	1.2			
8 諸収入	418,959	0			
9 市債	56,200,000	12.9			
歳 入 合 計	436,558,317	100.0	歳 出 合 計	431,484,978	100.0

前年度との比較

歳 入

(単位：円)

予 算 科 目	平成 2 8 年度決算額	平成 2 7 年度決算額	比 較
1 分担金及び負担金	23,120,000	23,421,000	△301,000
2 使用料及び手数料	193,836,634	184,574,834	9,261,800
3 国庫支出金	39,578,000	69,308,000	△29,730,000
4 県支出金	10,975,000	12,498,000	△1,523,000
5 財産収入	75,938	82,411	△6,473
6 繰入金	107,250,000	106,069,000	1,181,000
7 繰越金	5,103,786	5,021,550	82,236
8 諸収入	418,959	2,165,639	△1,746,680
9 市債	56,200,000	50,900,000	5,300,000
歳 入 合 計	436,558,317	454,040,434	△17,482,117

歳 出

(単位：円)

予 算 科 目	平成 2 8 年度決算額	平成 2 7 年度決算額	比 較
1 総務費	32,165,857	41,208,344	△9,042,487
2 施設管理費	187,060,308	177,696,967	9,363,341
3 施設整備費	172,448,582	190,451,757	△18,003,175
4 基金積立金	11,050,938	12,580,411	△1,529,473
5 公債費	28,759,293	26,999,169	1,760,124
歳 出 合 計	431,484,978	448,936,648	△17,451,670

歳 入

歳入予算科目別決算の状況は、次のとおりです。

分担金及び負担金

平成 2 8 年度の分担金は、現年度分が 2 2, 4 1 9, 0 0 0 円、過年度分が 7 0 1, 0 0 0 円で総額が 2 3, 1 2 0, 0 0 0 円となっています。前年度との比較としましては、3 0 1, 0 0 0 円の減少となっています。これは、浄化槽設置基数が昨年にくらべ 2 2 基減少したことによるものです。

使用料及び手数料

平成28年度の浄化槽使用料は、現年度分が193,151,336円、過年度分が655,798円、手数料が29,500円で総額が193,836,634円となっています。前年度との比較としましては、9,261,800円の増加となっています。これは、浄化槽の管理基数が増加したことによるものです。

国庫支出金

平成28年度の国庫交付金は、39,578,000円となっています。前年度との比較としましては、29,730,000円の減少となっています。

県支出金

平成28年度の県補助金は、補助対象事業費（50人槽まで）の7.5%で、10,975,000円となっています。

財産収入

平成28年度の基金積立金利子は、75,938円となっています。

繰入金

平成28年度の繰入金は、107,250,000円となっています。前年度との比較としましては、1,181,000円の増加となっています。

繰越金

平成28年度の繰越金は、5,103,786円となっています。前年度との比較としましては、82,236円の増加となっています。

諸収入

平成28年度の諸収入は、消費税還付金418,959円となっています。

市債

平成28年度の下水道債は、国庫補助対象事業費から国庫交付金及び分担金を控除した額に対しての起債額となり56,200,000円となっています。

歳 出

歳出予算科目別決算の状況は、次のとおりです。

総務費

総務費は、人件費、事務費が主な支出で総額 32, 165, 857円となっています。

● 施設管理費

〔目的〕

浄化槽の定期的な点検をし、適正な維持管理を行うことにより、公共用水域の水質保全及び環境衛生の向上を目的とするものです。

〔成果〕

施設管理費は、浄化槽の維持管理委託料が主な支出で総額 187, 060, 308円となっています。一括管理することにより浄化槽の適正管理を行い、生活雑排水の処理を適正に行うことができました。

● 施設整備費

〔目的〕

浄化槽を整備することで、公共用水域の水質保全及び環境衛生の向上を目的とするものです。

〔成果〕

施設整備費は、浄化槽工事費、7条検査手数料が主な支出で総額 172, 448, 582円となっています。し尿と生活雑排水を併せて処理し、窒素を除去処理する高度処理型の浄化槽を推進することにより、住環境の改善と公共用水域の水質汚濁の防止に寄与することができました。

○ 平成28年度生活排水処理事業の実施状況

(1) 工事請負費

工 事 名	工事費	主な工事内容
浄化槽設置工事	168,947,640	設置基数 (128基)
		5人槽 59基
		7人槽 53基
		10人槽 7基
		12人槽 1基
		14人槽 2基
		16人槽 0基
		18人槽 0基
		21人槽 1基
		24人槽 1基
		28人槽 0基
		35人槽 3基
		40人槽 0基
		45人槽 1基
50人槽 0基		

基金積立金

基金積立金は、県補助金及び基金利子11,050,938円を浄化槽整備推進基金積立金に積み立てるものです。

公債費

公債費は、起債償還元金が15,710,679円、起債償還利子が13,048,614円で総額が28,759,293円となっています。